

教科	農業	科目	課題研究	単位数	2 単位	学年	2 年	コース	E
使用教科書	野菜・果樹・草花			使用副教材等	実習記録簿 アグリノート				

目標	野菜、果樹、草花に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、農業の各科目で学習した専門的な個々の知識と技術に関連付け、その深化、総合科を図ります。また、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を育てることを目標にしています。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・園芸の専門的な技術を深化・総合化して身につけ、問題解決型の学習を適切に実施するとともに、その学習における計画、取り組み、まとめなど正確に表現している。	・設定した課題を分析するなど多面的に考察し、課題と学習の状況を適切に判断するとともに、それらの状況を科学的、合理的に解決しようとする能力を身に付けている。	・諸問題に関心を持ち、設定した課題に継続して意欲的に取り組むとともに、その課題を目的意識をもって工夫して解決しようとする自発的、創造的な態度を身に付けている。
評価方法	・実習状況の観察 (実習内容を理解し、行動することができているか) ・実習記録簿 (知識・技術に関する記述)	・実習状況の観察 (実習内での自身の役割を把握し、的確に判断できているか) ・実習記録簿 (自分なりの考察についての確に表現できているか)	・実習状況の観察 (主体的・協働的に取り組んでいるか) ・実習記録簿 (振り返りや改善策を考え、今後の実習で実践していく姿勢がみられるか)

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱う野菜、果樹、草花は商品として販売されるものもあります。常に細心の注意を払い、真剣に取り組んでください。 ・各教科の内容を実践していきます。班別で行う作業が多いので、指示をきちんと把握し、協力して取り組んでください。 ・5分前行動を身に付けてください。(時間厳守) ・実習服(帽子、ベルト、地下足袋、皮手袋を含む)を忘れないようにしてください。
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1 3	4 3	<p>○オリエンテーション ・実習についての注意点や成績評価について確認する</p> <p>○各班に分かれて昨年度おこなわれた、課題研究について実際に体験し理解する。</p> <p>・これまで主には野菜、果樹、草花の3つの専攻ごとに課題を設定し、栽培管理・生育調査・加工品の製造・地域交流・探究活動などを行ってきました。まずはこれらの内容を実際に体験し理解する。</p> <p>・昨年度内容を体験した後は、学生自らが進んで研究内容を設定します。これまでの取り組みを参考に、自らの知識を活かし課題解決に向けて取り組みます。</p> <p>○計画の立案 ・課題解決のために行わなければならないことを準備・計画します。</p> <p>○調査・研究・実験 ・必要に応じて調査・研究・実験を実施します。基礎的なデータを積み上げ、それを解析することで問題解決につなげます。</p> <p>○学校農業クラブ活動への参加 ・農業クラブ活動などに積極的に参加することにより、プレゼンテーション能力を高めます。</p>	<p>(知):知識・技術 (思):思考・判断・表現 (態):主体的に学習に取り組む態度</p> <p>○草花班 ・はたのう紅の歴史や栽培を復活させることになった経緯や意義を理解できている(知) ・シクラメンの栽培管理における、作業の目的を理解できている(知)(思) ・シクラメンの栽培管理が実践できる(知)(態)(思) ・シクラメンの栽培の調査、データ収集・分析が適切に行える(知)(思)(態) ・草花を通して地域との交流、地域貢献について考え行動できる(思)(態) ・これまでの学習をもとに新しい課題を発見し、課題解決に向け論理的に考え行動できる(知)(思)(態)</p> <p>○果樹班 ・本校で栽培している果樹の栽培方法や、その品種の歴史について理解できる(知) ・栽培管理における課題を発見し、課題解決に向け論理的に考え行動できる(知)(思)(態) ・加工品の生産について自ら調べ問題点を発見し、課題解決に向け論理的に考え行動できる(知)(思)(態)</p> <p>○野菜班 ・本校で栽培している野菜の栽培方法や環境制御型ハウス、JGAPに関する事柄などを理解できる。(知) ・本校の野菜栽培を取り巻く環境を理解したうえで、先進的な事例やIOPなどの新しい知識を取り入れつつ、創造的な発想を活動に取り入れることができる。(思) ・本校で栽培している野菜に関する課題解決、JGAPの推進、地域社会との連携した地域課題解決などについて、他者と協働しながら活動を進めることができる。(態)</p> <p>○全体を通して ・時々学習目標に対応した発言をし、問題が生じたとき、自ら考え、その解決に向けて積極的に取り組んでいる(思)(態) ・知識・技術を習得しようと周囲と協働して作業に取り組んでいる(思)(態) ・実習記録簿に、自分なりの課題や考察、気づきを記入できている(態)(思)(知)</p>